

2022年7月理事会議事録

日 時：2022年7月23日（土）14：00～17：00

場 所：日本考古学協会事務所・オンライン会議

出 席：辻 秀人・大竹幸恵・佐藤宏之・足立佳代・足立拓朗・岩本 崇・大坪志子・岡林孝作・亀田直美・小菅将夫・澤田秀実・高倉 純・谷口 榮・谷畑美帆・野口淳・日高 慎・藤沢 敦・藤野次史・水本和美・高麗 正、監事：都築恵美子・萩野谷 悟、（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠 席：黒沢 浩・田尻義了・肥後弘幸・溝口孝司

進 行：足立佳代

議 長：辻 秀人

足立佳代理事から、本日の出席者は22名（うち理事20名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

足立佳代理事から、元会長で千葉県の大塚初重名誉会員が2022年7月21日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表し黙祷を捧げた。

議案第692号 アーカイブス小委員会の委員の選任について

谷口理事に代わり高麗常務理事から、アーカイブス小委員会の委員構成について、理事改選を受けて、広報委員会から担当理事として足立佳代理事を、またこれまで担当理事であった谷口 榮理事を委員として継続して選任したいとの説明があり、原案通り承認された。なお、その他の矢島國雄委員長、長瀬 衛会員、水山昭宏会員は留任とする。

議案第693号 埋蔵文化財保護対策委員会の委員長の選任について

埋蔵文化財保護対策委員会の前委員長である藤沢理事から、埋蔵文化財保護対策委員会では、新たに山田康弘会員を委員長として選任したいとの説明があり、併せて委員会を運営する幹事会の構成委員が提示され、原案通り承認された。

議案第694号 災害対応委員会の委員長の選任について

岡林理事から、災害対応委員会では、前委員長の退任に伴い、新たに杉井 健会員を委員長として選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

議案第695号 新入会員の入会資格審査委員の選任及び審査日程の承認について

谷畑理事から、2023年度入会の新入会員（正会員）の入会資格審査日程並びに入会資格審査委員候補者14名の提示があり、原案通り承認された。

議案第696号 『年報75』執筆者選定委員の承認及び執筆要項について

亀田理事から、『日本考古学年報』75（2022年度版）の内容及び刊行までのスケジュール

ルの説明があるとともに、各理事に執筆者の選定委員案と執筆要項が提示され、執筆者選定委員は一部担当者を修正の上、承認された。なお、資料収集において必要な場合は資料提供依頼文書を発出する旨の説明があり、各理事には担当になった時代・地域の執筆者について、期限までの選定・連絡が求められた。

議案第697号 研究環境検討委員会の副委員長を選任及び同委員会研究倫理部会の委員の選任について

亀田理事から、研究環境検討委員会では、森原明廣会員を副委員長として選任し、また委員会内にある研究倫理部会では堀内秀樹会員が任期満了で退任することから、前理事会で担当理事であった臼杵 勲会員を委員として選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

議案第698号 デジタル化完了済の媒体資料の廃棄の承認について

谷口理事から、協会事務所に保管されている過去の電子記録媒体について、媒体内のデータのコピーが終了したフロッピーディスクやMOディスク・カセットテープ、及び通常のパソコンでは読取りできず業者委託が必要なフロッピーディスクやUマチック電磁テープについて、データを読み取られない方法で廃棄処分したいとの説明があり、代替データや紙媒体があることを確認のうえ廃棄することで承認された。

議案第699号 金属器切取り問題に関わる会長見解の表明について

辻会長から、次の議案第700号と一括で説明があった。

金属器無断切取り行為について、6月理事会報告第892号での意見交換を受け、『「遺物の分析試料の不正採取」について』として会員に向けた会長見解の表明提案があった。内容の主旨は、①当該会員のみの問題ではなく担当者との協議の齟齬もあったことから、遺物の分析試料の保存処理業務を行うにあたって組織内及び関係者間で十分に話し合い認識を共有すること、②所有者の同意を得ずに行った切取り行為は、当会の倫理綱領に違反すると判断されるとの説明があり、見解の文案が提示された。審議の結果、文案に修正を加えた上で見解の発出について承認され、『会報』及びホームページで公開することとした。

議案第700号 会員への退会勧告の承認について

辻会長から、議案第699号と一括で説明があった。

「遺物の分析試料の不正採取」についての会長見解の発出と併せて、当会の倫理綱領に違反したと判断される当該会員への退会勧告の提案があり、原案通り承認された。

報告第899号 2022年度福岡大会の理事役割分担について

2022年度福岡大会実行委員会である田尻理事・溝口理事が欠席のため藤沢理事から、2022年度福岡大会について、各理事の出欠状況・役割分担（案）及び前日の理事会の集合時間について確認があり、了承された。

報告第900号 2021年度版会員名簿の追加版の作成・配布について

社会長から、『2021年度版会員名簿』に掲載されなかった会員で、名簿登載を希望する会員を、8月会報に同封する2022年度新入会員名簿の冊子に合わせて追加掲載するとの説明があり、了承された。

報告第901号 2022-23年度理事会等構成表及び窓口役理事一覧

高麗常務理事から、事務処理規定別表3の体裁に担当理事を記載した理事会の構成表、及び各事業・委員会において事務局からの連絡窓口となる担当理事一覧の提示があり、窓口担当理事には円滑な理事会運営のための協力が求められた。

報告第902号 各委員会等における2022年度会議等報告について（その2）

1 陵墓の報告

岡林理事から、①7月14日（木）に慶応大学三田キャンパス会議室において陵墓16学協会の全体会議を行い、今年度の運営委員会の構成及び本年度の陵墓保全整備工事、今年度の立入り観察や限定公開について協議した。②全体会議後、宮内庁との陵墓懇談を行い、15学協会15名が参加したとの報告があり、了承された。

2 アウトリーチ「カフェde考古学2022」ワーキンググループの報告

大竹副会長から、6月29日（水）に、アウトリーチ活動「カフェde考古学」ワーキンググループをオンラインで開催し、①第3回まで実施しての課題の抽出を行い、終了後のアンケート実施や、内容等から賛助会員への案内連絡等が提案された。②第4回「中国考古学の現在」の実施概要について国際交流委員会の小澤正人委員長から説明を受けた。③事業内容が好評なことから、来年も「カフェde考古学2023」として継続する予定である。事業体制としては、現在と同様に各委員会・事業の担当者で構成し、広報委員会委員長がワーキンググループの代表となり、アウトリーチ活動を統括する副会長と共に進めるとの報告があり、了承された。

3 研究環境検討委員会の報告

水本理事から、7月2日（日）に委員会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、新体制で初めての委員会であることから、副委員長に森原委員を選出し、これまでの活動の説明と今後の活動内容について協議したとの報告があり、了承された。

4 埋蔵文化財保護対策委員会の報告

藤野理事から、6月19日（日）及び7月9日（土）に幹事会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①港区高輪築堤跡について発掘調査の経過及び現状と課題の把握を行い、今後の事業計画や報告書の作成等に引き続き注視していく。またシンポジウムの記録集について進捗状況を確認した。②島本町越谷遺跡について調査に対する要望書を提出し、現地視察を行う予定である。③大阪府藤井寺市でクラウドファンディングを利用して報告書作成を行う事例について、費用負担について協議すると共に引き続き情報収集を行う。④広島市広島城跡について面談を行い要望書を提出した。⑤「これからの埋蔵文化財保護の在り方について（第一次報告書）（案）」のパブリック・コメントへの応募につ

いて協議し、メール確認後、期日までに意見を提出することとした。⑥福岡大会における情報交換会とポスターセッションの実施内容について協議したとの報告があり、了承された。また、委員会後に提出したパブリック・コメントが提示され、併せて了承された。

5 広報委員会の報告

野口理事から、7月13日（水）に委員会をオンラインで開催し、①『会報』No.206の進捗状況及び刊行日程について確認した。②アウトリーチ活動「カフェde考古学」ワーキンググループからの改善提案について協議した。③協会ホームページの活性化について、現状の管理状況等を確認の上、デザインや内容についてリニューアルに向けた検討を開始することとした。検討にあたってはホームページに特化したワーキンググループまたは小委員会の設置も検討している。④社会科・歴史教科書等検討委員会から、協会ホームページ上でギガスクール構想に対応する教材のWebコンテンツの紹介についての協力依頼があり、両委員会で情報共有や意見交換を図っていくとの報告があり、了承された。

6 賛助会員事業担当者会の報告

大竹副会長から、賛助会員事業担当者での会議について、これまでの事業の整理を行うとともに、今年度の事業として、コロナ禍により開催できていなかった賛助会員向けの見学会を行う予定で、日程や進捗状況の報告があり、了承された。

その他

1 2022年9月理事会について

高麗常務理事から、例年開催している9月理事会については、大会時に開催している10月理事会と近接していることから実施しないことが説明された。

以 上